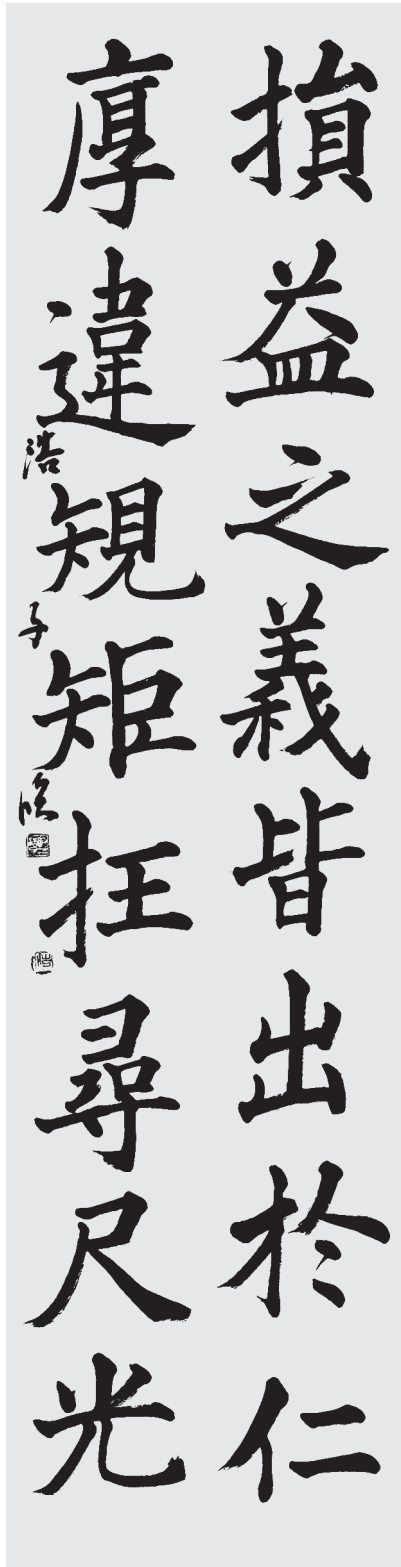




条幅規定

師範正 角大島居美

運腕大きく重厚で丸みのある線質と流暢で自然な用筆。筆の開閉、文字の大小、行の響き合いも見事で、強さと明るさを兼ね備えた完成度の高い作品。この線を大切に、破綻の研究してほしい。

条幅随意(臨書)

成家 阪井 浩子

この古典をよく理解し、一貫した運筆の速度と安定した腕の動きで完成度の高い形臨作品。やや浮沈の変化不足も感じられるが、大きさや余白の美しさが作品に存在感を与えている。次回も期待。

条幅随意

師範正 内梨 櫻舟

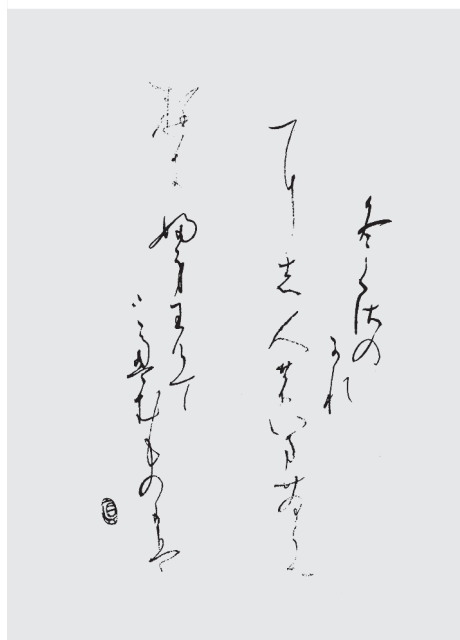
日頃の迫力を全面に打ち出した作品から一変、小粒ながらも骨力のある線とリズムに乗った躍動感、大字で鍛えられた独自の技術。やや右上りが気になるが、この技術を活かし新しい挑戦を。



半紙規定

成家 木下 美鳳

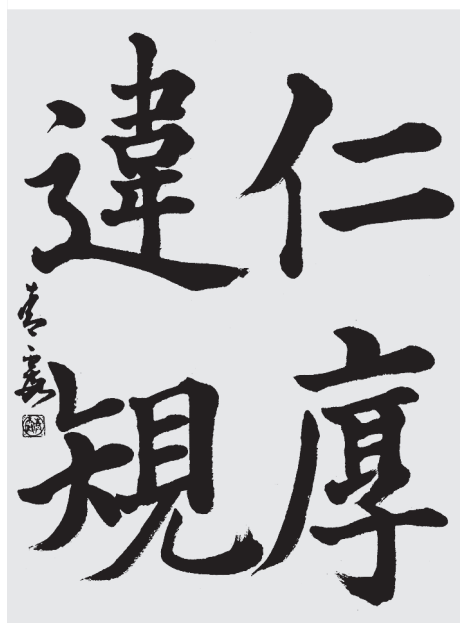
濃墨で羊毛筆を駆使しながら、スピード感のある大胆な筆運びは、作品に生命感と躍動感を与え、確かな技量をみる。手本に捉われず他の書体にも挑戦を。



半紙随意

師範 副島真知子

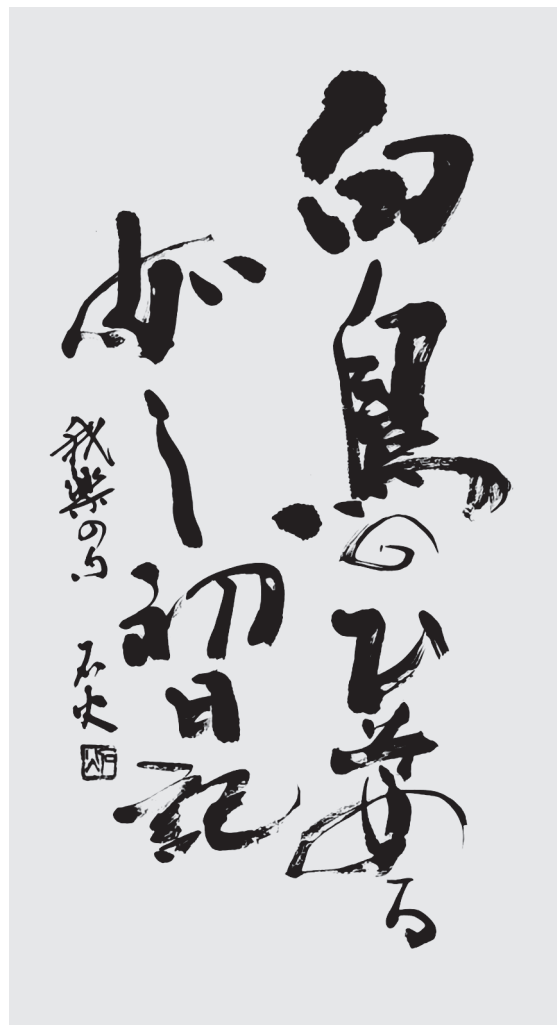
永年の鍛錬と経験から線質の豊かさが生まれる。連綿線も自然体で心地よく、渾身も無理なく安定し、表情も豊かで、明るく爽やかな作となった。



半紙随意(臨書)

成家 立谷 青霞

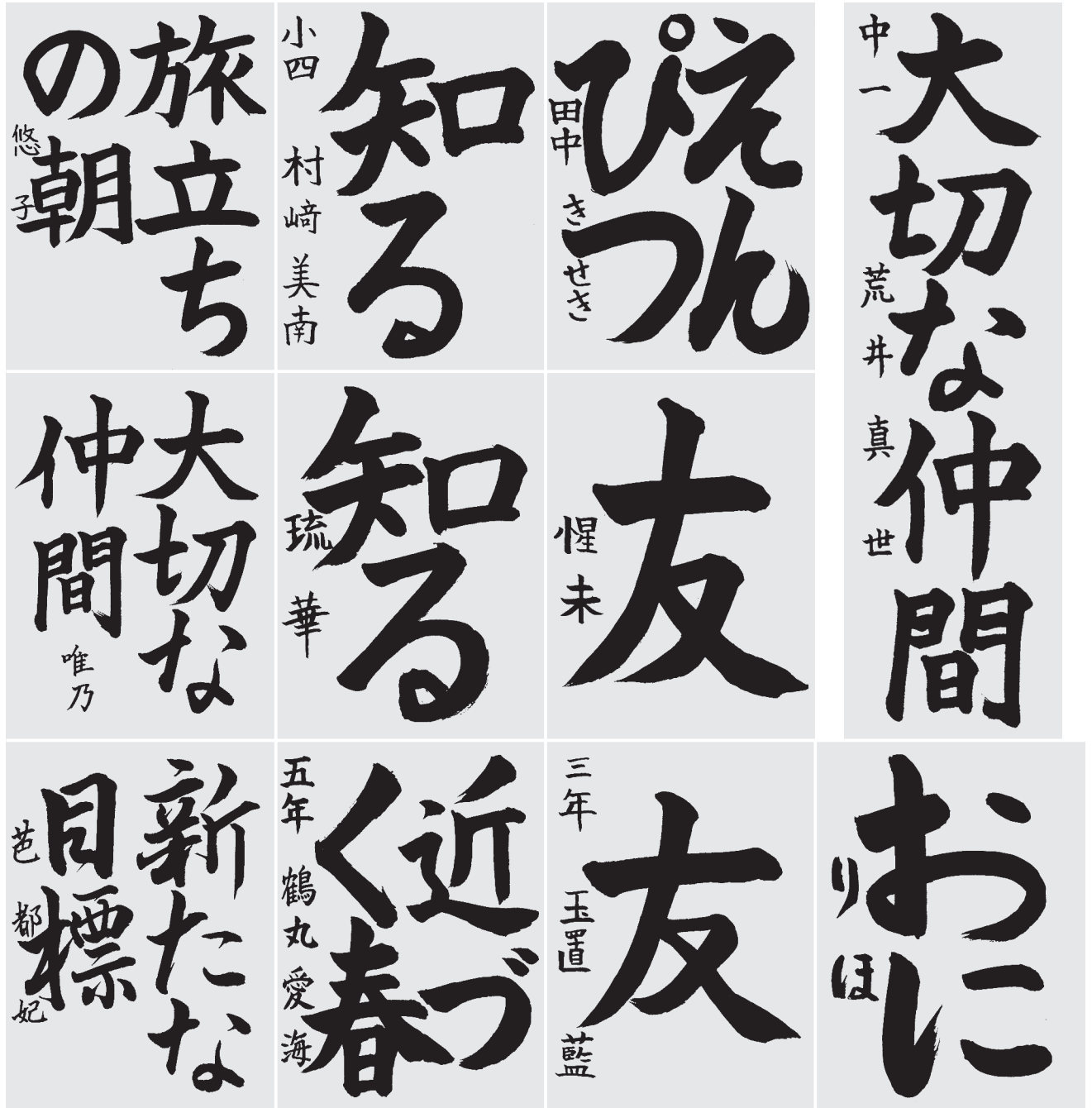
凛とした骨力ある線と正確な構築性で、整齊で緊密さを表現。さすが成家の気力の充実した完成度の高い臨書作品。この技を後進の育成にも役立てよう。



半折1/2縦

師範 鶴丸 石火

手本に捉われることなく、一気呵成に書かれた強く鋭い線が作品を引き締め、動じることのない構築性と書く楽しさが伝わり、どこか魅力を感じる。作者の内面が投影されたのかもしれない。期待している。



学生部条幅 (1/4)

中一 準四段 荒井 真世
力強い線で名前まで堂々と書けています。漢字と平仮名のバランスも良く、しつかりと練習のできた作品です。今後に期待大です！

小一 準五級 金子 りほ
ほんのりとしたいい「おに」がかけましたね。なまめもよくれんしゅうができています。これからがんばってね。

田中きせき 小二 準二級
力づよいせんで、半紙いっぱいにとっても元気よくりっぱに書けましたね。名前もすばらしい。おけいこの楽しさがつたわかります。

小三 二段 藍
むずかしい名前までしつかりと練習のできたバランスのいい立派な作品です。さらに上の段位を目指してがんばってね。

村崎 美南 小四 準四段
基本の筆づかいがしつかりとでき、漢字と平仮名のバランスも見事な作品です。名前もしつかりと練習ができています。期待大。

小五 準五級 愛海
とても難しい課題を名前までバランス良く、力強く堂々と書けています。今後がとても楽しみです。これから頑張ってください。

進来 悠子 小六 準六段
温か味のある線にとっても好感のもてる作品です。お手本をよく観て丁寧に形良く書けましたね。日頃の練習の成果だと思います。

中二 準特待生 芭都妃
形だけではなく行書の流れをしつかりととらえて、伸びやかに書けています。完成度の高い、すばらしい作品です。

硬筆部最優秀作品

(2月末日締切分)

(坂元紫香先生評)

糸車がまわるにつれて、二つの目玉も、くるりとまわりました。

スーホのうつくしい歌声は、草原をこえ、遠くまでひびいていきましました。

生きていくうえでのちえや教えを、短い言葉や言い回しで表したものを、「ことわざ」という。

生きていくうえでのちえや教えを、短い言葉や言い回しで表したものを、「ことわざ」という。

生活の中から生まれた問いについて、本で調べて友達に読んでもらうほうにく書を書きましよう。

生活の中から生まれた問いについて、本で調べて友達に読んでもらうほうにく書を書きましよう。

新しい情報を聞けば聞くほど、想像力のスイッチが入れば入るほどだんだんと多くのことが見えてきて、少しずつ事実の形が分かっていく。

本物のイヌとロボットのイヌをよく見てください。本物のイヌは呼吸をしています。呼吸は、空気中の酸素を体に取り入れ、二酸化炭素を体から出すことです。

本物のイヌとロボットのイヌをよく見てください。本物のイヌは呼吸をしています。呼吸は、空気中の酸素を体に取り入れ、二酸化炭素を体から出すことです。

滞在中、幾度となくキャンプを訪れて彼女を撮るようになった。その笑顔に、戦場の凄惨な現場を撮ってくださった私の気持ちがいかに和んでいくような気がしたからだ。

今月四月は立春、十九日は雨水、春らしいことを多く耳にするようになった。雪を見ることがなく、暖かな春の訪れが、雪がりの智恵さんにとっては、まだ辛い季節なのかもしれない。

故宮は中国の文化史を綴った百万点以上の文物を所蔵し、乾隆帝が集めた王羲之の書跡、各時代を代表する絵画の数々、それらを眺めるだけで歴史の奥深さが伝わってくる。

藤山 結香

小石真理奈

石川 陽葵

小一 準6級
むずかしい漢字もバランスよくきれいに書けましたね。マスいっぱいになり元気がよく書けたとても立派な作品です。

小二 二段
明るくすっきりとした線で、一字一字形よく、名前までとてもいいねいに書けています。これからますます期待しています。

小三 準初段
ペンを上手に使用して、漢字と平仮名のバランスも良く、明るく書けています。しっかりと練習のできたすばらしい作品です。

田代 祐唯

野村 優人

一ノ瀬 奈々

小三 2級
力のこもった強い線で、一字一字しっかりと書けています。今後は漢字よりも平仮名を小さく書くことさらに良くなります。

小四 準三段
書き始めから名前まで集中し、ペンを上手に使用して形良く書けています。さすが上位有段者ですね。さらに期待しています。

小四 二段
漢字と平仮名のバランスがよく、お手本をよく見て形良く書けています。この調子でこれからも一枚でも多く練習しましょう。

松下 知央

藏永 緋衣子

稲田 弥佑

小五 準四段
書き始めから名前まで集中力を切らず、しっかりと書いています。今後の成長が楽しみです。

小六 準六段
難しいペンを上手に使い、お手本を良くみて、一字一字とても丁寧に形良く書けています。特待生を目指してがんばってくださいね。

小六 準五段
書き始めから名前まで、お手本をしっかりと見て書けた完成度の高い作品です。今後は、勉強などとの両立も頑張ってくださいね。

河野 風紗

梅谷 節子

中根 希紗

中学 特待生
大人顔負けのペンを捌きが見事です。さすが特待生の作品です。全体のバランス、字形ともに完成度の高い素晴らしい作品です。

一般 準師範
丁寧なペンを捌きで明るく書かれた点にとっても好感のもてる作品です。後半は、抑揚の変化も見事で、伸びやかな作品です。

一般 準三段
文字の大小変化が自然で、学生部の頃から積み重ねた努力の賜ですね。継続は力なり。今後は自己のリズムを取り入れましょう。